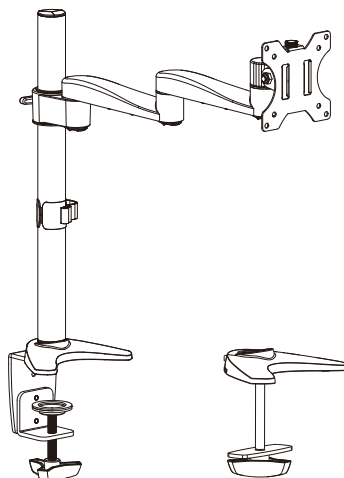


卓上テレビ&モニター VESA 規格アーム
TV セッターオフィス



NA512

設置マニュアル



施工者の方へ

設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください



右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください

取り付け前提条件	モニター背面对応ネジ穴幅	対応モニターインチ	最大モニター重量
モニター背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、テレビ背面がフラットである事	モニター背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 75×75mm、 100×100mm VESA 規格	13-32 インチ	8kg

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいようお願い申し上げます。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・卓上用途以外でのご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00～18:00(土・日・祝除く)

販売元：スタープラチナ株式会社

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F
<https://starplatinum.co.jp/>

設置にあたって：必ずお読みください



- 必ず荷重強度のあるしっかりとしたデスクやテーブルに設置してください。
無理な設置は、デスクやテーブルの転倒、モニターの落下や大怪我に繋がります。
- ある程度、天板に厚さのあるデスクやテーブルに設置してください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。
火災などの原因になります。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、設置に不適格だと思われる
デスクやテーブル

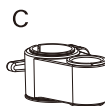


付属部品リスト一覧

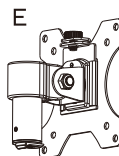
以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合はご購入店にご連絡ください。



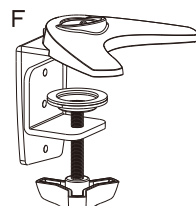
ポール 1本



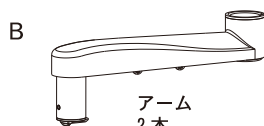
モニター固定金具
1個



モニターブラケット
1台



テーブルクランプ
1台



アーム
2本



ケーブルホルダー
1個



ベースプレート
1個



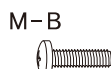
パッド
1個



カバーシール
1個



M4×12mmボルト
4本



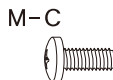
M4×16mmボルト
4本



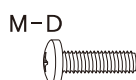
M4×8mmボルト
1本



3mm 六角レンチ
1本



M5×12mmボルト
4本



M5×16mmボルト
4本



4mm 六角レンチ
1本



6mm 六角レンチ
1本



M5 ワッシャー
4個



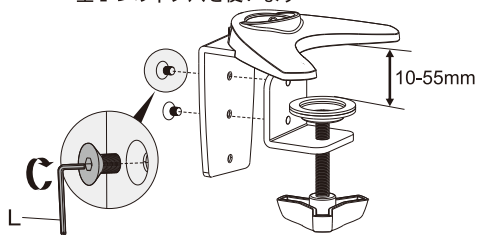
スペーサー
4個

ステップ 1-a テーブルクランプの取り付け準備

図を参考にテーブルや机の厚みに合わせてテーブルクランプ[F]の金具の位置を調整します。
厚みが 45 ～ 85mm の場合は、テーブルクランプ背面側のネジを 4mm 六角レンチ[L]で回して
内側のノブのついている L 型金具の位置を取り外し、下 2 つのネジ穴に合わせて再び取り付けます。

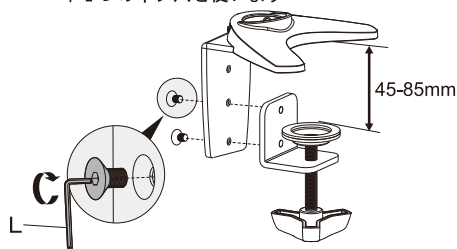
【机の厚みが 10 ～ 55mm の場合】

上 2 つのネジ穴を使います



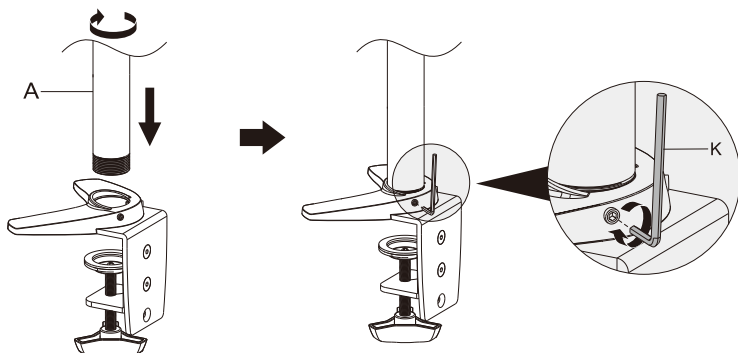
【机の厚みが 45 ～ 85mm の場合】

下 2 つのネジ穴を使います



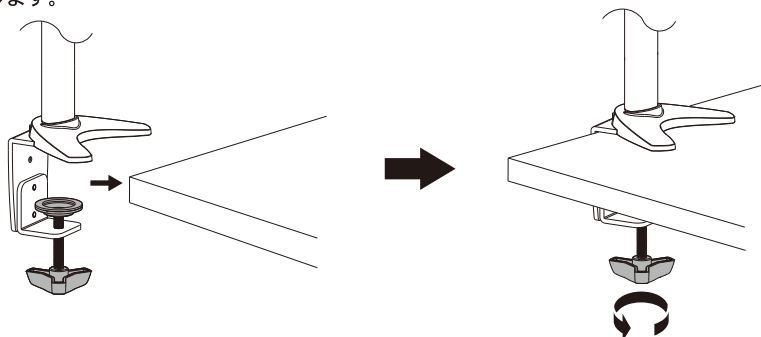
ステップ 2-a ポールの組み立て

テーブルクランプにポールを差し込み、ネジのように回して締め付けます。
3mm 六角レンチ[K]でクランプ背面にある小さなネジを回し、しっかりと固定をします。



ステップ 3-a デスクへの設置

机を傷つけないように挟み、クランプ下のスクリューノブを回して動かないようにしっかりと固定します。

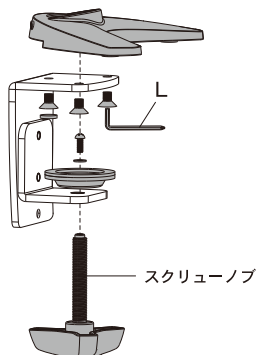


ステップ 1-b テーブルクランプの取り付け準備・貫通する場合

テーブルに穴を開け、そこに貫通させる事でより強固な設置をする方法（グロメット式）です。
テーブルに直径 1 センチ程の丸穴を事前に開けておきます。

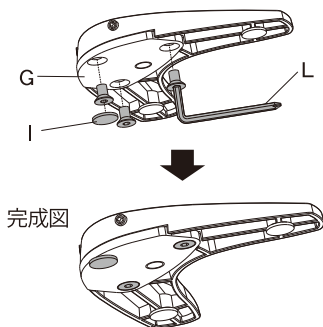
1) テーブルクランプ[F]を分解します。

裏側の六角ネジ 3 か所を 4mm 六角レンチ [L]
を使って外します。



2) 分解したクランプの上部に、ベースプレート [G] を取り付けます。

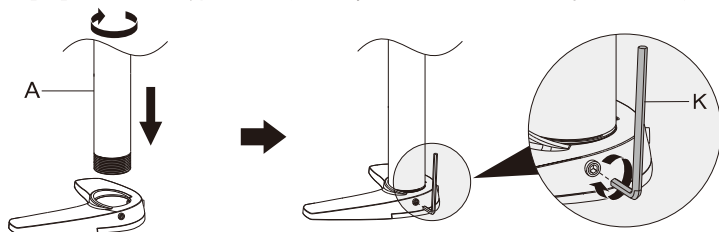
カバーシール [I] をキズ防止の為に貼ります。



ステップ 2-b ポールの組み立て

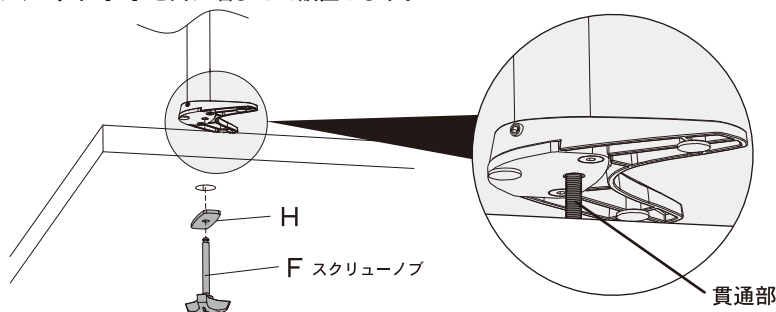
テーブルクランプにポールを差し込み、ネジのように回して締め付けます。

3mm 六角レンチ [K] でクランプ背面にある小さなネジを回し、しっかりと固定をします。



ステップ 3-b デスクへの設置

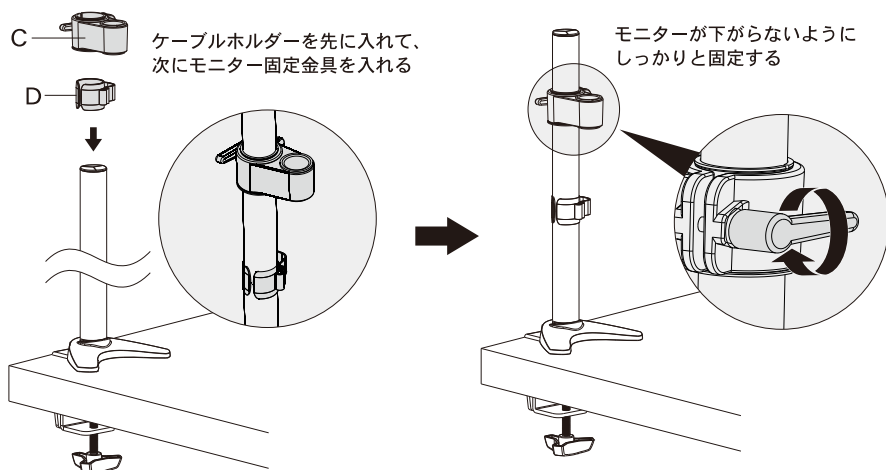
テーブルに開けた穴に下図を参考にテーブルクランプ [F] のスクリューノブ部を取り付けます。
その際に、パッド [H] を間に噛ませて設置します。



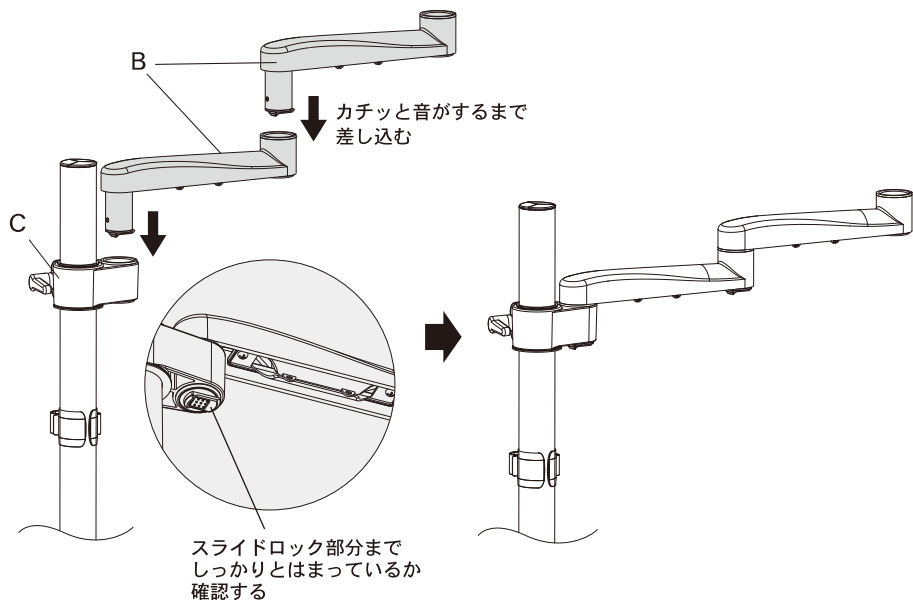
ステップ 4

アームの取り付け

ポールにモニター固定金具 [C] とケーブルホルダー [D] を差し込みます。
モニターを設置したい高さに合わせ、ツマミを回転させてしっかり固定します。



モニター固定金具 [C] にアーム [B] をカチッと音がするまで差し込みます。
音がしない場合、完全に差し込まれていない可能性があります。
アーム下部のスライドロック部分がしっかりとめ込まれているか確認してください。



ステップ5

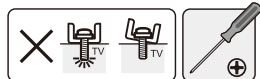
モニターブラケットの取り付け

図を参考にしてモニターブラケット[E]を、モニター背面の壁掛け用ネジ穴に取り付けます。

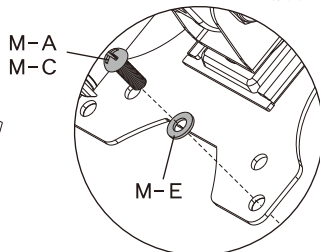
付属品のネジ [M-A] ～ [M-D] の中から合うネジを使用します。

ワッシャー [M-E] を使用して固定します。

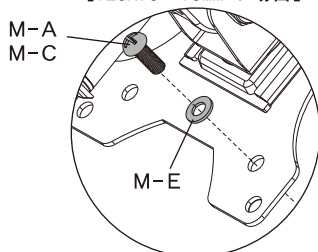
VESA100×100mm は外側のネジ穴を、VESA75×75mm は内側のネジ穴を使用します。



[VESA100×100mm の場合]



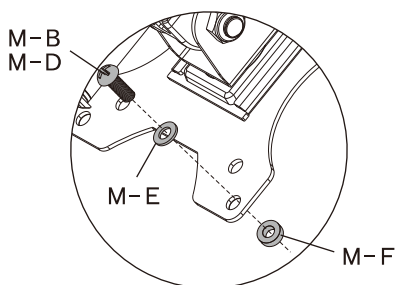
[VESA75×75mm の場合]



ネジの長さが余ってしまう場合

ネジの長さが余ってしまう場合は、スペーサー[M-F]を金具とテレビの間に挟んでネジ止めします。

ネジ穴の深さより長いネジを使用するとテレビ内部の基盤を破損する恐れがありますので、充分注意して取り付けてください。



1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。

2) 万一ネジが合わない場合、取り付け可能モニター (VESA 規格対応) では無い事になります。

お取り付けができませんので設置作業を中止してください。

ステップ 6

ポールへのモニターの取り付けと調整

ステップ 4 で取り付けしたアーム [B] に、モニターを取り付けたモニターブラケット [E] をカチッと音がするまで差し込みます。

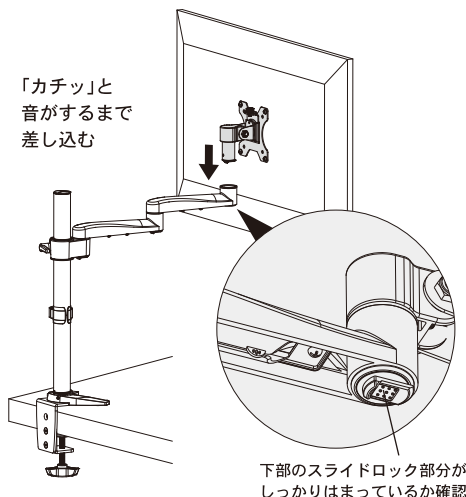
音がしない場合、完全に差し込まれていない可能性がありますので、アーム下部のスライドロック部分がしっかりとめ込まれているか確認してください。

取り付け後、ブラケット脇の六角ボルトの強さを 6mm 六角レンチ [M] で調整します。

先に調整を行っておく事で、画面の上下角度調節がしやすくなります。

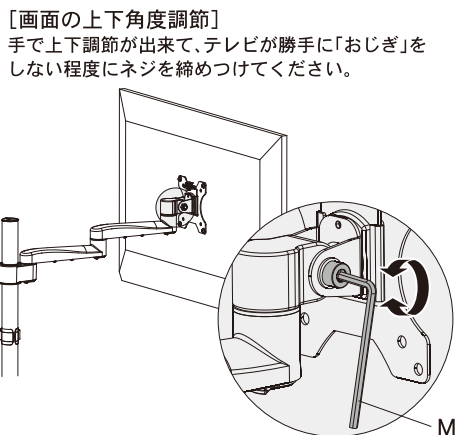


二人での作業推奨



「カチッ」と音がするまで差し込む

下部のスライドロック部分がしっかりとまっているか確認



〔画面の上下角度調節〕

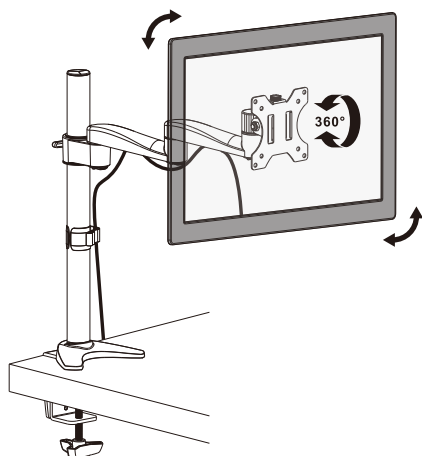
手で上下調節が出来て、テレビが勝手に「おじぎ」をしない程度にネジを締めつけてください。

※万が一、上下角度調節のバランスが上手く取れない場合、お好みの角度にした上でネジをきつく締めつけてください。

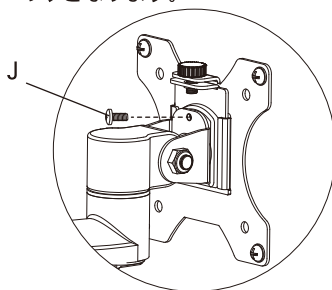
当商品は、車のハンドルのように画面そのものを回転させる事の出来る機能があります。

仮に設置時に水平を取り間違えた時があった場合もこの機能により調節が可能です。

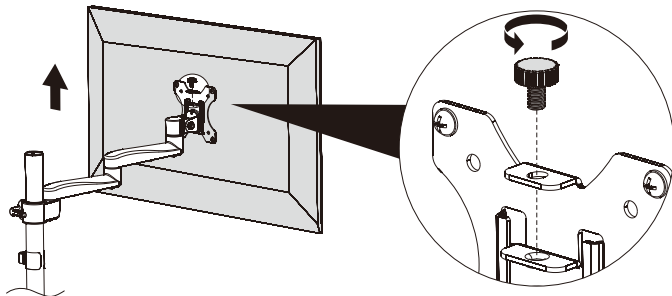
画面を両手で持って、水平を取りたい方向にハンドル回転操作します。



ブラケット裏にある中央ネジ穴を付属のネジ [J] で留めると、360 度回転せずに ±6 度の水平調節のみとなります。

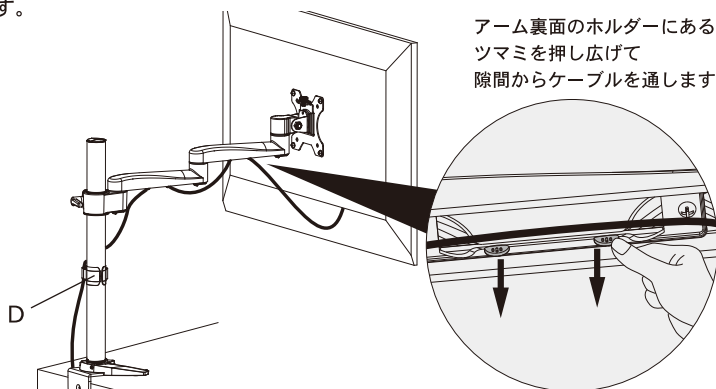


モニターを取り換えるなど、取り外したい場合はブラケット[E]の上部にあるネジを回して外し、モニターを真上に持ち上げて取り外してください。



ステップ 7 ケーブルホルダーの活用

ポールに取り付けたケーブルホルダー[D]と、アーム裏面にあるホルダーにケーブルを通してまとめます。



ステップ 8 取付の終了と確認

各取り付け部分や可動部分にガタつき等が無い、チェックをしてください。

緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしてください。少しでも違和感があった場合、モニターをいったん取り外してください。

これらのチェック作業は 3 ヶ月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。

